

推進体制

当方針は、リニア開業後のまちを見据え、名駅南において公民が連携して取り組むまちづくりの方針を関係者で共有するものです。

方針の実現にあたっては、これまで各々の課題への対応や様々な取り組みを進めてきた学区、まちづくり団体、行政等が、リニアの開業を契機に一体となり、それぞれの課題や情報を共有しながら、まちづくりに取り組む必要があります。

地域住民、事業者、学生、まちづくり協議会、行政などが相互理解を図りながら、各々が担い手となり、連携した取り組みを実践していくことで、まちの将来像の実現を図っていきます。

スケジュール

将来像の実現を図るための公民連携による様々な取り組みについて、スケジュールイメージを示しています。

■スケジュールイメージ

方針	施策	令和6年～ >>>>>>	リニア開業後 >>>>>>
方針1 賑わいがあふれるウォカブルなまちづくり	安心・安全な道路空間の確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 笹島線東側区間の自転車等走行空間の明示 ● 歩行者空間の拡充・改善 など ● ウォカブル区域の指定 	● 活用
	賑わいがあふれる歩行者空間の創出	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路・公園・民地空間の活用(マルシェ・オープンカフェ・パークレット・キッチンカー等) ● 建物低層部のオープン化 など 	
	居心地が良い滞在空間の創出	<ul style="list-style-type: none"> ● 六反公園・称宜公園の活用 ● 道路・民地空間の緑化 など 	
方針2 公民の投資により再生するまちづくり	ウォカブルな取り組みを支える交通機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 笹島線東側区間の整備 ● 横断機能の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 笹島線東側区間の歩道の活用 ● 名高速高架下の活用 ● 地下公共空間の整備 など
	開発ポテンシャルを活かした民間開発の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 低未利用土地の活用・建物低層部の店舗化 ● 民間開発の誘導 など 	
	大規模地震に備えた災害対策機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 六反公園の防災施設の設置 ● 退避施設の拡充 	● 活用
方針3 新たな体験を誘発し様々な挑戦を支えるクリエイティブなまちづくり	市民が体感できる社会実験の場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ● (仮称)名駅南通での社会実験 ● 称宜公園等での社会実験 	● 本格実施へ
	クリエイティブ人材が集まる仕掛けづくりの促進	<ul style="list-style-type: none"> ● スタートアップ・ベンチャー企業の集積 など 	
	クリエイティブをテーマとしたイベント実施を促進	<ul style="list-style-type: none"> ● クリエイティブチャレンジの継続・発展 ● イベント活動の各種手続きの標準化 	
方針4 地域の力で地域を育てるまちづくり	多様な主体の顔が見える関係の構築を促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様な主体(住民・まち協・学生など)が連携した取り組みの実施 ● 六反公園・称宜公園の活用 	
	伝統から最先端まで新旧織りなす地域の個性を活かしたブランディングを促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域活動の情報発信 ● 地域活動の連携強化(山車行事、花飾り活動・盆踊りなど) 	

《将来像》
つつつながら、つながってつくる。「創造・交流タウン名駅南」